

『ラストシーン』

～行動の台本についての考察～



ティン： ある意味では、私たちの人生全体が台本に書かれた役割のようなものです。

玲亜： その通り。そして、私たちが演じている役割については、ぼんやりとしか意識していないようです。

ミン： (ポテトチップスを食べながら) なぜこのように知的なことをするのですか？時間の無駄じゃないですか？

ティム： では、自分の設計について何も知らない機械を想像してごらん。そのような機械は実際にどの程度「生きている」と言えるでしょうか？

- T Newfields
(訳：Heatdcanine、doctrinaire、とsachisachi)
開始：2000年 名古屋市 完成：2024年 静岡市